

■近衛基熙 摂関家公卿。当代一流の学者で、朝幕関係の維持と朝廷の運営に腐心、幕政顧問をつとめた。

このえもとひろ

市中諸法度・1648＝ 近衛簡嗣と家女房の間に生まれる。

徳川家光没・1651＝ 3歳：

野郎歌舞伎始1653＝ 5歳：父が死去し、正室の後水尾皇女昭子内親王との間に男子がなかったため、上皇の命により家督を嗣ぐ。

幼少より後水尾上皇の庇護のもと、歌道などの影響を受け、

明暦の大火・1657＝ 9歳：

殉死の禁止・1663＝15歳：この年、霊元天皇が即位、

諸宗寺院法度1665＝17歳：内大臣、

酒井忠清大老1666＝18歳：

足利学校再建1668＝20歳：地下の楽人辻近元について、箏を習い始める。

・・・・・・1671＝23歳：右大臣、

歌壇において、のちに「貞享千句」で指導的役割を果たした中院通茂と並ぶ60首の和歌を詠むなどするが、

談林派俳諧・1675＝27歳：11年長で音楽に造詣深い野宮定縁と箏と箏で合奏、

・・・・・・1677＝29歳：左大臣にまできたが、

徳川綱吉將軍1680＝32歳：この頃、娘熙子が徳川綱豊に嫁ぐ。後水尾上皇が死去して後、後西院から、古今伝授を受ける。

幕府との協調関係を重視し、朝廷復古をめざす霊元天皇と対立するようになって排斥され、

好色一代男・1682＝34歳：右大臣の一条兼輝が先に閑白になって失脚、以後、不遇となり、箏の練習や演奏も中断するなど、謹慎。

堀田正俊暗殺1684＝36歳：

生類憐令始・1687＝39歳：この年、霊元天皇が譲位し、東山天皇が即位するも、なお、院政が敷かれるなか、

湯島聖堂・・1690＝42歳：*ようやく閑白に就任して復権し、

奥の細道・・1693＝45歳：この年、上皇が政務を完全に天皇に委譲すると、音楽に造詣の深い天皇との信頼関係を築くべく、

芭蕉+師宣没 1694＝46歳：天皇の近習をつとめる四辻公韶について和琴を本格的に学修し始めるとともに、御物の和琴を納める袋を公韶と相談しながら新調して献上し、天皇の歓心を得ることに成功、

生類憐令頂点1695＝47歳：早くも、その上達ぶりが高く評価される一方、この前後、若手を集め、演奏を通じて楽器を学修する音楽サロンを結成、

・・・・・・1697＝49歳：ついに、天皇から天皇の生母の推挙で議奏となった中御門資熙を排斥したいとの密事の相談に預かり、

・・・・・・1699＝51歳：公韶が近習を解任・蟄居となるなど逆襲も受けたため、天皇の意思を内密に幕府に伝え、江戸からの指示で、資熙の政治生命を絶ち、天皇から深く感謝される。

・・・・・・1700＝52歳：この年、音楽サロンのメンバー中2人が東山天皇に召される荣誉に浴する。

赤穂浪士討入1702＝54歳：

赤穂浪士切腹1703＝55歳：*閑白を辞任。

御蔭参流行・1705＝59歳：この年、娘婿徳川綱豊が將軍継嗣に決定して家宣と改名。

・・・・・・1706＝58歳：還暦が近づき、自ら記念して丹波頼庸に肖像画を描かせる。

徳川綱吉没・1709＝61歳：*徳川家宣が將軍になると、幕府との関係でも特異な地位を築き、公家では江戸初の太政大臣に任じられ、

・・・・・・1710＝62歳：皇統断絶を危惧する新井白石の建言を受け、天皇への財政支援を認めさせて新宮家(閑院宮)創設を実現。

冥途の飛脚・1711＝63歳：

徳川吉宗將軍1716＝68歳：

洋書輸入解禁1720＝72歳：

・・・・・・1722＝74歳：*落飾し、証岳と号し、まもなく、没した。